

自動点呼初期設定クイックスタートガイド

Typeモバイルアプリ自動点呼のスマートフォン端末アプリ側の必要初期設定です。

先に「企業管理者向け」「運行管理者向け」の自動点呼事前設定クイックスタートガイド設定完了後に実施ください。
アプリのインストールにはGoogleアカウントの作成が必要です。Android13以下は配信ストア内にアプリが表示されません。

1 自動点呼アプリをインストールするスマホ端末を準備

1-1 Google Playストアからアプリをインストール → 起動 → 各種権限許可

- Google Playストアより「東海電子」で検索し「e点呼セルフTypeモバイル」をインストール
- アプリをタップ→初回起動時に権限許可ダイアログが順に表示されるので、すべて許可
- 「写真/位置情報/音声」→使用時のみ許可、「周辺デバイス/電話/通知」→許可

※「許可しない」を選ぶとアプリが正常動作せず、自動点呼が実施できません。選択を誤った場合は端末の「設定→アプリ→e点呼セルフ→権限」から許可し直してください。



e点呼セルフ
アプリアイコン

1-2 アラームとリマインダー設定の許可

- 表示された「本体設定へ」→端末のアプリ設定でe点呼セルフを許可。(予定・未実施通知で必要)



操作機種により画面レイアウトは異なる場合があります。

2 設置先へのアクティベート(QRコード読み込み)

①アクティベート画面 ②カメラでQR撮影 ③読取後の画面 ④運転者のログイン画面



- QR読み取りボタン選択→カメラでQRコード全体を撮影→アクティベート完了→運転者ログイン画面へ。

※QRコードは運輸安全PRO「設定」→「セットアップ」→接続情報のアクティベートコード(拠点)の「表示する」→当該営業所の「表示」から確認でき、読み取ったQRの営業所運行の自動点呼のみ実施可能です。(運行管理者権限でログイン時は所属営業所のアクティベートコードのみ確認できます。)

※別営業所で使う場合は「企業情報初期化」後に再アクティベートが必要です。

自動点呼初期設定クイックスタートガイド

Typeモバイルアプリ自動点呼のスマートフォン端末アプリ側の必要初期設定です。

3 運転者の顔認証写真登録とログイン

3-1 顔認証写真の登録

- ログイン画面の「設定」→「顔認証写真登録」を選択し、登録済みの従業員番号を入力。
- カメラが起動するので顔をアップで写して「撮影」をタップし、確認画面で「はい」を選択。

※逆光や顔が小さい場合、マスク着用時などは認証に失敗しやすいためご注意ください。

3-2 運転者ログイン（運行管理者にてモバイル自動点呼ライセンスの有効設定が必要）

- 運転者ログイン画面で顔をカメラに写し「顔認証」をタップしてログイン（成功時はメニュー画面へ）

※「IDパスワードでログインする」から従業員番号とパスワードでの手動認証も可能です。

※モバイル自動点呼ライセンス未付与の場合は「ライセンスがありません」と表示されログイン不可です。

4 端末設定（血圧計・体温計の Bluetooth接続）

4-1 端末設定を開く

- ログイン後のメニュー「端末設定」をタップする。
- 「Bluetooth設定」→接続機器側を操作→「Bluetooth接続」で該当デバイスを選び血圧計、体温計の接続設定を行う。
（※機種毎に以下を参照ください。）
- 「機器の接続に成功しました」表示を確認→端末設定に戻る
→テスト測定で記録反映を確認後「戻る」をタップする。



4-2 血圧計の接続設定

<HCM-AS01BTの場合>

- ① HCM-XXXXを選択。
- ② 「血圧計」左下のBluetooth設定をタップ。
- ③ 血圧計の電源を入れ「[1]測定/停止」を3秒以上長押し。
- ④ Bluetooth設定をタップして表示される「HCM～」を選択。



4-3 体温計の接続設定

<東海電子TD-100の場合>

- ② 「体温計」左下のBluetooth設定をタップ。
- ③ 体温計のストラップ側のボタンを押す。
- ④ Bluetooth設定をタップして表示される「Dual-SPP」を選択。



※接続設定後は必ず「テスト測定」で結果が反映されるか確認してください。（反映されない場合は端末を再起動ください）

※アルコール検知器ALC-MobileⅢはBluetoothフリー接続のためこのような接続設定は不要です。